合志市総合政策審議会 【平成 27 年度 第 5 回 会議録】

(1) 会議の名称、開催日時及び開催場所

- ・平成 27 年度 第 5 回合志市総合政策審議会
- ・平成 27 年 10 月 27 日（月）午前 9 時 30 分～12 時 00 分
- ・場所 合志市役所 合志庁舎 2 階大会議室

(2) 会議の議題

- (1) 合志市総合計画及び新市建設計画について

(3) 会議の公開、非公開又は一部非公開の別

- ・公開

(4) 出席委員及び欠席委員の氏名

[出席委員] 三宅 正恵委員、竹田 節子委員、川端 正春委員、永尾 テル子委員、田端 眞知子委員、小林 文子委員、出口 増穂会長、矢野 信司朗委員、松浦 隆委員、杉田 眞紀委員、東 隆幸委員、緒方 量委員、田代 宏男委員（13 名）

[欠席委員] 寺本 秀信委員、荒川 和典委員、峯 隆吉委員、大藪 真裕美委員、矢野 辰善委員、緒方 幸代委員、（6 名）

[事務局] （企画課）澤田 勝矢 企画課長、牧野 淳一 企画課長補佐、坂本 好幸 企画課主幹、加藤 大蔵 企画課主事

(5) 審議内容

以下のとおり（要旨）

(6) 傍聴者 なし

1 開会（午前 9 時 30 分）

澤田 勝矢 企画課長：ただ今から第 6 回の総合政策審議会を開会します。

出口 増穂 会長：早速今日の会議をはじめさせていただきます。

澤田 勝矢 企画課長：ここで、本日欠席の委員のお知らせをしておきます。寺本委員、峯委員、大藪委員、矢野辰善委員、緒方幸代委員この 5 名の方からは欠席の連絡を

いただいています。荒川委員は今のところ連絡をいただいていません。早速議題に入りたいと思います。議題の進行は会長をお願いします。

出口 増穂 会長：それでは早速本日の議題に入ります。議題1「合志市総合計画、新市建設計画について」まず、新市建設計画から執行部の方からご説明をお願いします。

牧野 淳一 企画課長補佐：説明

出口 増穂 会長：何かご意見ありますか。

東 隆幸委員：恵楓園北側の交差点工事がありません。この交差点が非常に混雑する。平日の昼間も混雑するので、提案であるが、費用はかかるが立体交差にできないか。

牧野 淳一 企画課長補佐：交差点については、県とのヒアリングでも意見があった。御代志の交差点の南北の交差点の整備について考えている。

矢野 信司朗委員：農業公園から農業大学への道路が行き止まりになっている。そこを通行可能にすれば渋滞緩和できるのではないか。

牧野 淳一 企画課長補佐：要望はしているが、現在は通行止めになっている。

矢野 信司朗委員：障害者と障がい者の表記の違いは何か

牧野 淳一 企画課長補佐：市の事業等はひらがな表記であるが、法律等については漢字の表記になる。

三宅 正恵委員：ヴィーブルのトレーニングジムで聞いた意見だが、備品が傷ついたままになっている。整備をお願いしたい。また、インストラクターが指導した後に要領を得てない人を見て指導を行って欲しいという意見を聞いた。

緒方 量委員：熊本電鉄の辻久保まで延伸することについて、実現できるのであればお願いしたい。また、御代志地区の開発がされると道路の整備が重要になる、大津植木線の道路の整備を計画的に進めて欲しい。

田代 宏男委員：交通事故が頻発する交差点は必ずある。色々要望しても予算の都合で出来ない場合もあるので、道路の管理も自治会に任せてカラー舗装をするだけなら

簡単に出来そうな気がする。そう言った権限委譲はできないか。

矢野 信司朗委員：給食センターについて、土日や夏休みは稼働していないのもっていない。民間業者に任せて給食以外に弁当配達とかはできないか。

牧野 淳一 企画課長補佐：委託については行政改革で施設の民間委託を検討している。

出口 増穂 会長：次に、総合計画について事務局より説明をお願いします。

牧野 淳一 企画課長補佐：説明

出口 増穂 会長：何かご意見はありますか。

東 隆幸委員：庁舎のあり方を検討する項目で、委員会での検討などで市民を巻き込んだ方法や市民への公表等を考えて欲しい。

澤田 勝矢 企画課長：どこかの時点で公表の機会があると思う。

緒方 量委員：開発について3つの重点地区を設けていると思うが、具体的にどのような構想を持っているのか。また、重点市街地ゾーンとはどういう意味か。

澤田 勝矢 企画課長：来期の基本構想でゾーン分けしたところで案を作ったが、この表現は外す方向で考えている。重点地区に施設等を作るなど具体的なものは決まっていない。

田代 宏男委員：ウォーキングによる健康づくりの件について教えて欲しい。

小林 文子委員：今年秋まつりの中でボランティア表彰がある。同日に火の国ボランティアフェスティバルがある、横の連携を取って日程調整してほしい。

緒方 量委員：秋まつりで多額の予算がかかっている。無駄ではないか。

牧野 淳一 企画課長補佐：地域の物産販売の機会もあり、情報発信の意味もある。

田代 宏男委員：毎年まつりのやり方が変わっている。前はボランティアの出店があったが今は無くなった。

牧野 淳一 企画課長補佐：現在はどのような形がいいか模索している段階である。

東 隆幸委員：直接でも委託でも構わないが、毎年変わっている。目標をたててやって欲しい。

三宅 正恵委員：保育園にもまつりを含めたくさん依頼があり大変である。地域に根付いたまつりをして欲しい。

出口 増穂 会長：総合計画で市はこの計画で今後 10 年間進んでいくという研修を全職員向けにしてほしい。

ほかに、意見はありませんか。意見がなければ、総合計画及び新市建設計画についてはこれでご了承ということよろしいでしょうか。

一同：はい

出口 増穂 会長：それでは、これをもって閉会します。